EMC/Wireless 最新情報

2022.01.17

Empowering Trust™

EU | 市場監視、医療機器規則、低電圧指令整合規格、車両規則、医療機器整合規格、RE 指令委任法、TGN30

2021 年 12 月 2 日

ADCO（Group of Administrative Co-operation Under the Radio Equipment Directive）は、2020 年における欧州全体の市場監視の状況を公表しています。それによると軽微な問題から重大な問題までを含めると R&TTE 指令において 326 件中 271 件、RE 指令において 2816 件中 1582 件の不適合が検出されています。以前の規定に基づく R&TTE 指令に比べると RE 指令における違反率は減少していますが、まだ多くの問題が見られるようです。詳細はウェブサイトをご参照ください。

また、2020 年から 2021 年に行われている、PMR（Licensed or licence-exempt professional/private mobile radio）に対する第 11 回市場監視キャンペーンに関しての情報が提供されています。ライセンスが要求される PMR、ライセンス除外である PMR446 における個々の要求への適合、また、不適合が多く見られるマルチバンド機器など現時点でもサンプルの 5 分の 4 以上の不適合が検出されています。 これらをもとに市場監視が進められていきます。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 12 月 14 日

欧州委員会は規則（EU）2017/745 の適用に関して、医療機器の取扱説明書を電子的に提供することの有益性に対して、どのようにすべきかの規則（EU）2021/2226 を発行しています。電子的に提供する場合の適切なリスク評価を含め、提供する方法の明確化を主としています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 12 月 20 日

低電圧指令の整合規格が更新されています。家庭用電気製品を対象とする EN 60335 シリーズ、EN 61010 シリーズ、EN 60947 シリーズ、EN 61800 シリーズなどの改定があります。 詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 12 月 30 日

車両の無許可使用の保護に関する、統一規定 UN Regulation No 161（ロックシステム）、No 162（イモビライザー）、No 163（警報システム）が官報に掲載されています。これらは、2021 年 12 月 16 日に発行された、UN Regulation No. 116 Amendment 8 から引用されます。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2022 年 1 月 5 日

医療電気機器関連の整合規格が更新されています。医療機器品質管理システムの要求規格である、EN ISO 13485:2016 に A11:2021 が追加されています。その他詳細はウェブサイトをご参照ください。

2022 年 1 月 12 日

欧州委員会は Regulation (EU) 2022/30 を発行し、RE 指令委任法として検討されてきた、第 3.3 条（d）、（e）、（f）項に関する要求事項を 2024 年 8 月 1 日施行として正式に発行しました。内容は最終的に検討されていた

ドラフトとほぼ同様となっています。条項は3条からなる簡易なものとなっていますが、リサイタルにはその経緯が説明されています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

第1条

1. 指令2014/53 / EUの第3条（3）、（d）に規定されている必須要件は、直接通信するか他の機器を介して通信するかにかかわらず、インターネットを介して通信できるすべての無線機器に適用されるものとする（「インターネット接続された無線機器」）。

2. 指令2014/53 / EUの第3条（3）、（e）に規定されている必須要件は、次の無線機器のいずれかに適用されるものとする。規則（EU）2016/679の第4条（2）の意味の範囲内で、規則（EU）2016/679の第4条（1）で定義されている個人データを処理できる場合、または指令2002/58/EC 第2条 （b）および（c）に定義されているように交通、位置データを処理できる場合：

（a） （b）、（c）または（d）で言及されている機器以外のインターネット接続された無線機器

（b） 育児専用に設計または意図された無線機器

（c） 指令2009/48 / ECの対象となる無線機器

（d） 排他的または排他的でないかどうかにかかわらず、次のいずれかに着用、ストラップ、または吊り下げるように設計または意図された無線機器：

（ｉ） 頭、首、胴体、腕、手、脚、足など、人体のあらゆる部分

（ii） 帽子、ハンドウェア、履物など、人間が着用するあらゆる衣類

3. 指令2014/53/EUの第3条（3）、（f）に定められた必須要件は、インターネットに接続された無線機器が所有者またはユーザーが金銭的価値を送金できる場合、その機器に適用されるものとする。または指令（EU）2019/713の第2条（d）で定義されている金銭的価値または仮想通貨を送金できる場合、その機器に適用されるものとする。

第2条

1. 第1条からの逸脱として、指令2014/53/EUの第3条（3）、（d）、（e）、および（f）に規定されている必須要件は、次のような連合法に基づく無線機器には適用されないものとする。

（a） 規制（EU）2017/745

（b） 規制（EU）2017/746

2. 第1条（2）および第1条（3）からの逸脱として、指令2014/53 / EUの第3条（3）、（e）および（f）に定められた必須要件は、次のような連合法に基づく無線機器には適用されないものとする。

（a） 規制（EU）2018/1139

（b） 規則（EU）2019/2144

（c） 指令（EU）2019/520

第3条

この規則は、*欧州連合官報*に掲載されてから20日後に発効するものとする。

2024年8月1日から適用される。

また、本内容に基づき、CEN、CENELEC、ETSI への規格作成要求案が示されています。不明確ではありますが、Annex Ⅱ Part B の内容に注意する必要があります。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2022 年 1 月 13 日

Radio Equipment Directive Compliance Association (RED CA)はリスクアセスメントのテクニカルガイドである TGN 30 の Draft V3.1 を公表しています（現在 NB 限定）。内容的には V3.0a に対して、リスクアセスメントは無線だけでなく、安全・EMC にも必要なこと、議論がある人体曝露に関して、5 mm の距離の削除、アコースティックショックの追記、極端な環境条件でのリスクアセスメントの必要性、予期可能な環境条件の評価、ソフトウエア依存性の考慮などを含め、全体的により具体的なリスクアセスメントを要求しています。また Annex に関してもより明確化された評価手法が掲載されています。

US | KDB

2021 年 11 月 29 日

【447498】 Mobile and Portable Device, RF Exposure, Equipment Authorization Procedures, 1.1307, 2.1091, 2.1093

※ 447498 D04 Interim General RF Exposure Guidance v01 追加 （ドラフトとほぼ同様：4 項のホスト組込みの場合、1.4 W/kg を超える場合は PAG であること、同時送信を考慮しなければいけないことの追記）PAG など特殊な場合を除いて、2022 年 3 月 31 日以降、すべてのアプリケーションは、「447498General RF Exposure Guidancev06」に置き換わり、「447498 D04 Interim General RF Exposure Guidance」に基づく、「D01 447498 General RF Exposure Guidance v07」として公開された手順のみを使用

2021 年 11 月 29 日

【502150】 waivers, 47 CFR 1.925

※ 正式発行：ドラフト同様

2021 年 12 月 3 日

【388624】 Pre-Approval Guidance (PAG)

※ D02 更新 388624 D02 v17r05。TXSENS および AGGREG を明確にするために変更（それぞれ Appendix A、B に記載）。 SOFTDR は自動的に PAG となるため、注記を変更。PWRDIN を PWRDYN に変更（内容に変更無し）

Canada | RSS-248、SPR-APD、GL-01、Notice 2021-DRS0012、SPR-002、Notice 2020-DRS0014、周波数割当

2021 年 11 月 19 日

ISED は 6 GHz 帯要求事項である RSS-248 Issue　1 を正式に発行しました。内容的には 2021 年 6 月 7 日に公表されたドラフトとほぼ同様です。詳細はウェブサイトをご参照ください。なお、RSS-247 のスコープを持っている試験所は自動的にそのスコープとして RSS-248 が追加されていますが、試験所は RSS-248 への拡大のためには認定機関の監査を受ける必要があります。(認定機関のシンボル無しのレポートを 1 年以内であれば ISED は受け入れると解釈できます)

合わせて、6 GHz 帯域（5925 MHz～7125 MHz）のポータブルデバイスの比吸収率（SAR）および吸収電力密度（APD）の適合性評価を行うための補足手順 SPR-APD Issue 1 を公開しています。この適合手順では、RSS-248 の対象である 6 GHz 帯域で動作するポータブルデバイス（5925 MHz～7125 MHz の RLAN デバイスなど）の比吸収率（SAR）リミットおよび吸収電力密度（APD）リミットへの準拠を示す場合に従う必要のある技術要件とプロセスについて説明されています。意見募集は 2022 年 1 月 31 日まで行われています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 12 月 16 日

3 kHz～300 GHz の周波数での無線周波数フィールドの測定に関するガイドラインである、GL-01 Issue 4 が発行されています。Issue　3 からの主な変更点は以下となります。詳細はウェブサイトをご参照ください。

Section 3.1　シミュレーションに時分割複信（TDD）フレーム構造の組み込み

Section 3.2　サイト特性評価手順の明確化

Section 3.2　3 GHz を超える周波数の評価手順の明確化

Section 4.4　シミュレーション時の実際の最大電力の使用に関する考慮事項

Section 4.5　レーダー送信サイトの手順の明確化

Annex C　フィールド測定のためのセルラーシステムへのトラフィック負荷の組み込み

その他編集上の変更

2021 年 12 月 20 日

6 GHz 帯域は RSS-248 及び RSS-Gen に基づく測定を行う必要があります。通常、帯域幅は 99 % BW としていますが、ISED は Notice 2021-DRS0012 を発行し、KDB 789033 D02 が示す 26 dB BW を許可することを明確化しています。

2021 年 12 月 23 日

ISED は 3 kHz～10 MHz における RSS-102 への適合を示すための補助文書として、SPR-002 Issue 2 のドラフトを公表しています。本文書は意図的放射機器だけではなく、ISM 機器にも適用されます。以下 Issue 1 からの主な変更点です。詳細はウェブサイトをご参照ください。

ⅰ.範囲が拡大され、以下を含む

a. 神経刺激と熱効果の両方を防ぐための RF 曝露リミットに対する評価

b. 参照レベルと基本制限の双方に対する評価

c. 測定ベースおよび計算による評価

ⅱ.参照レベルに対する測定ベースの評価に提供される要件は、新しいデバイスとテクノロジーに対応するために最新化

ⅲ.参照レベルに対する評価における四肢曝露の緩和係数を改訂

ⅳ.IEC/IEEE 62704-1 および IEC/IEEE 62704-4 は、計算評価アプローチの基本の一部として使用されており、参照によって組込

ⅴ.ポータブルデバイスと電気自動車の充電に重点を置いて、WPT 実装の具体的かつ詳細な要件を提供する Annex を追加

2022 年 1 月 4 日

ISED は TRP（Total Radiated Power）測定に関する Notice 2020-DRS0014 を更新しています。KDB 842590 D01 の代替として提供する二つの方法は同等ですが、RSS-192 に限定する文面の削除と、コンパクトアンテナテストレンジ(CATR)を認める代替方法 1 において交差偏波分離（Cross polarization isolation）が ＞30 dB から ＞20 dB に緩和されています。

2022 年 1 月 13 日

カナダ ISED は WRC-19 との整合を考慮した、周波数割り当てを公表しています。GHz 帯の提案だけではなく、5 GHz 帯など多くの周波数が検討されており、コメント期間は 2022 年 2 月 21 日までとなっています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

Japan | 5.2 GHz 帯、CISPR、2.3 GHz 帯、電気用品安全法、空間電力伝送、5 GHz 帯レーダー等

2021 年 11 月 16 日

各国で 5.2 GHz 帯の屋外利用は進んでいますが、今回総務省は現在屋外と定義されている自動車内での使用を出力を下げた条件で開放することを検討しています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 11 月 22 日

情報通信審議会　情報通信技術分科会　電波利用環境委員会 第 49 回、第 50 回の配布資料が公開されています。詳細はそれぞれウェブサイトをご参照ください。

また、それに合わせて、2021 年 11 月 26 日に、CISPR 16-1-2（第 2.1 版、2017-11）、CISPR 16-2-1（第 3.1 版、2017-06）、CISPR 16-2-3（第 4.0 版、2016-9）にそれぞれ準拠した、、「無線周波妨害波及びイミュニティ測定装置の技術的条件 補助装置－伝導妨害波－」、「無線周波妨害波及びイミュニティ測定法の技術的

条件 伝導妨害波の測定法」及び「無線周波妨害波及びイミュニティ測定法の技術的条件 放射妨害波の測定法」に関する意見募集が 2021 年 12 月 27 日まで行わました。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 11 月 29 日

既存システムの地理的・時間的な運用状況を考慮した動的な共用（ダイナミック周波数共用）による 2.3GHz 帯への移動通信システム導入の検討が進められてきましたが、4G、5G への周波数割当として官報に掲載されました。主な概要は以下となります。詳細はウェブサイトをご参照ください。

○ 無線設備規則の一部改正

① 2.3GHz 帯移動通信システムの空中線電力の許容偏差（第 14 条）、副次発射の限度を規定（第 24 条）

② 2.3GHz 帯移動通信システムの通信方式、変調方式、空中線電力、キャリアアグリゲーションの条件、送信していない時の漏洩電力等を規定（第 49 条の６の 10、第 49 条の６の 12）

③ ＦＤＤ方式の４Ｇ及び５Ｇ並びにＢＷＡ*1 において 2.3GHz 帯移動通信システムとキャリアアグリゲーションを行う場合における空中線電力の規定の追加（第 49 条の６の９、第 49 条の６の 13、第 49 条の８の２の３、第 49 条の 29、第 49 条の 29 の２）

④ 2.3GHz 帯移動通信システムの占有周波数帯幅の許容値を規定（別表第２号）

⑤ 免許・認証等に関し、経過措置を規定（附則）

○ 特定無線設備の技術基準適合証明等に関する規則の一部改正

⇒ 特定無線設備の工事設計書における記載事項のうち、キャリアアグリゲーション等を行う際に同時に送信する搬送波の周波数帯に、2.3GHz 帯を追加（別表第二号）

○ 受信設備の特性を定める告示*2、４Ｇ及び５Ｇの技術的条件を定める告示*3 の一部改正

⇒ 受信設備の感度、ブロッキング特性等、隣接チャネル漏えい電力、スプリアス発射又は不要発射の強度の許容値等を規定

○ 電波法関係審査基準の一部改正

⇒ 2.3GHz 帯移動通信システムの審査において、放送事業用の無線局との共用のためにダイナミック周波数共用に基づく運用を行うこと、また、公共業務用無線局との共用のために当該無線局の免許人との合意に基づき運用すること等を審査内容に規定

○ その他関係告示*4 の整備等

2021 年 12 月 17 日

上記官報に掲載された 2.3 GHz 帯は 2020 年 8 月に第 4 世代移動通信システム（4G）等で使用されている周波数帯に 5G を導入するための制度整備が行われ、2021 年 4 月に 5G の普及のための特定基地局の開設計画の認定が行われてきました。また、5G の周波数利用に関するニーズの調査から、2.3 GHz 帯におけるダイナミック周波数共用を活用した 5G の周波数利用に対する多くのニーズが示されています。これら背景を踏まえ、2.3 GHz 帯におけるダイナミック周波数共用を活用した 5G の普及のための周波数の割当てに関する開設指針案等を作成され、2022 年 1 月 21 日まで意見募集が行われています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

2021 年 12 月 28 日

殺菌灯を有する電気消毒器について、現行の技術基準解釈では、「庫内の対象物に殺菌灯の光線を照射する構造のもの」が想定されていますが、近年、器体外に直接照射する構造のものが多くあります。殺菌灯は、目や皮膚等に傷害を及ぼす紫外線を放射するため、器体外に直接照射する構造の電気消毒器について、安全上必要な技術基準を技術基準解釈に追加するとともに、電気用品安全法の規制対象であることが明確化されています。また、電気用品の電波雑音の許容値を定める技術基準解釈の別表第十には、照明器具について放射電磁妨害波に関する規定が無く、LED ランプが発する電波雑音に起因する通信障害対策が十分とれないおそれがあるため、国際規格である CISPR に準拠し、技術基準解釈の別表第十において、LED ランプの雑音基準として適用する基準を、別表第十二で採用の J55015（対応国際規格：CISPR 15）に置き換える等の改正が行われます。2021 年 12 月 28 日施行となりますが、1 年間は猶予期間があります。詳細はウェイブサイトをご参照ください。

2022 年 1 月 14 日

「空間伝送型ワイヤレス電力伝送システム」について、2020 年 7 月 14 日に答申が出され、早ければ 2021 年初頭に公表されると期待されていましたが、運用調整の仕組みを作るために検討が行われていました。それら結果を踏まえ、省令等の改正案がまとまり公表されました。技術的要件はほぼ以前と同様ですが人体曝露に関するより詳細な規定などが追加されています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

同日、検討が行われてきた、「気象レーダーの技術的条件」のうち「5 GHz 帯気象レーダーの技術的条件」及び「9.7 GHz 帯汎用型気象レーダーの技術的条件」について検討結果が取りまとめられています。従来から主に国の機関によって運用されている公的な目的で広域監視を行う目的の 5 GHz 帯及び 9.7 GHz 帯の気象レーダー（高性能型）は、電子管型から、狭帯域かつ低出力で安定性の高い固体素子型への移行が進んでおり、併せてパルスの送信方法等が多様化しています。 他方、広域監視を目的とする気象レーダーのみでは、各交通機関の安全確保や危険回避対策の支援といった特化した要望に応えていくことが難しくなっており、迅速な設置及び運用が可能な、小型かつ廉価な X 帯気象レーダー（汎用型）を導入することで、気象現象の早期感知等のニーズに応えることが可能となります。5 GHz 帯気象レーダーについて、固体素子型への移行に対応し、5.3 GHz 帯無線 LAN との共用条件についての検討、そして X 帯気象レーダーのうち、より多くの地域での的確な観測を行うため導入が望まれる 9.7 GHz 帯汎用型気象レーダーについて、同一システム間及び他システムとの共用条件を含めた技術的条件について検討が行われました。既に 5 GHz 帯については、パルス圧縮技術（チャープ変調） を用いたパルスパターンに対応するため、5.3 GHz 帯無線 LAN が検出すべきパルスパターンの変更が行われ、あわせて、欧州における DFS の要求条件を参考とし、検出時における通信負荷率を 50 %から 30 %に引き下げられています。2022 年 2 月 14 日まで意見募集が行われています。詳細はウェブサイトをご参照ください。

Australia/ New Zealand | LIPD、EMC

2021 年 11 月 15 日に発行された、Radiocommunications (Electromagnetic Energy) Amendment Instrument 2021 (No. 1)：F2021L01568 修正に基づき、以下更新が行われています。

2021 年 12 月 14 日官報掲載（2021 年 11 月 17 日版）

Radiocommunications (Low Interference Potential Devices) Class Licence 2015

修正箇所：

1. Subsection 4(3) (note 5)
   ‘the Radiocommunications (Electromagnetic Radiation – Human Exposure) Standard 2014’を‘the standard prescribed by Schedule 4 to the Radiocommunications Equipment (General) Rules 2021’に置換
2. Subsection 5(4) (note 1)
   ‘the Radiocommunications (Electromagnetic Radiation – Human Exposure) Standard 2014’を‘the standard prescribed by Schedule 4 to the Radiocommunications Equipment (General) Rules 2021’に置換

2021 年 12 月 15 日官報掲載（2021 年 11 月 17 日版）

Radiocommunications Labelling (Electromagnetic Compatibility) Notice 2017

修正箇所：

1. Subsection 1.5(1) (note 2 at the end of the subsection)
   ‘paragraph 3(2)(h)’を‘paragraph 3(2)(g)’に置換
2. Schedule 2, item 1 (examples)
   ‘Radiocommunications (Electromagnetic Radiation – Human Exposure) Standard 2014’を‘the standard prescribed by Schedule 4 to the Radiocommunications Equipment (General) Rules 2021’に置換
3. Schedule 2, item 14 (notes 1 and 2)
   Note を以下に置換:
   Note:See also Division 4 of Part 1.4 of the Act for exemptions for certain entities, including defence and national security related entities.

Standard | ETSI、IEC、EN、AS/NZS、ECC、CISPR

2021 年 11 月 15 日

Draft ETSI EN 300 338-8 V1.0.0 (2021-11) Technical characteristics and methods of measurement for equipment for generation, transmission and reception of Digital Selective Calling (DSC) in the maritime MF, MF/HF and/or VHF mobile service; Part 8: Enabling DSC radio equipment with remote control capabilities

2021 年 11 月 18 日

IEC 61000-2-10:2021 Electromagnetic compatibility (EMC) - Part 2-10: Environment - Description of HEMP environment - Conducted disturbance

2021 年 11 月 19 日

EN IEC/IEEE 62209-1528:2021 Measurement procedure for the assessment of specific absorption rate of human exposure to radio frequency fields from hand-held and body-mounted wireless communication devices - Part 1528: Human models, instrumentation, and procedures (Frequency range of 4 MHz to 10 GHz)

AS/NZS 4268:2017 Amd 1:2021 Radio equipment and systems - Short range devices - Limits and methods of measurement

2021 年 11 月 24 日

Final draft ETSI EN 301 489-3 V2.2.0 (2021-11) ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 3: Specific conditions for Short Range Devices (SRD) operating on frequencies between 9 kHz and 246 GHz; Harmonised Standard for ElectroMagnetic Compatibility

※ V2.1.2 同様に放射電磁界の 6 GHz までの拡張。他から参照される高調波、電圧変動についての言及を削除

2021 年 11 月 25 日

ETSI EN 301 489-12 V3.2.1 (2021-11) ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 12: Specific conditions for Very Small Aperture Terminal, Satellite Interactive Earth Stations operated in the frequency ranges between 4 GHz and 30 GHz in the Fixed Satellite Service (FSS); Harmonised Standard for ElectroMagnetic Compatibility

ETSI EN 301 489-20 V2.2.1 (2021-11) ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 20: Specific conditions for Mobile Earth Stations (MES) used in the Mobile Satellite Services (MSS); Harmonised Standard for ElectroMagnetic Compatibility

ETSI EN 301 489-52 V1.2.1 (2021-11) ElectroMagnetic Compatibility (EMC) standard for radio equipment and services; Part 52: Specific conditions for Cellular Communication User Equipment (UE) radio and ancillary equipment; Harmonised Standard for ElectroMagnetic Compatibility

2021 年 11 月 26 日

ETSI EN 300 422-1 V2.2.1 (2021-11) Wireless Microphones; Audio PMSE up to 3 GHz; Part 1: Audio PMSE Equipment up to 3 GHz; Harmonised Standard for access to radio spectrum

2021 年 12 月 6 日

Draft ECC Report 337 Public numbering resources for mobile non-public networks

Draft ECC Report 338 CLI Spoofing

Draft ECC Report 339 eCall Call-back Functionality

2021 年 12 月 8 日

Draft ETSI EN 301 598 V2.2.0 (2021-12) TV White Space Devices (TVWSD); Wireless Access Systems operating in the 470 MHz to 694 MHz TV broadcast band; Harmonised Standard for access to radio spectrum

2021 年 12 月 9 日

ECO Report 03 The Licensing of "Mobile Bands" in CEPT

2021 年 12 月 10 日

Draft ETSI EN 303 722 V1.2.0 (2021-12) Wideband Data Transmission Systems (WDTS) for Fixed Network Radio Equipment operating in the 57 GHz to 71 GHz band; Harmonised Standard for access to radio spectrum

EN IEC 60974-10:2021 Arc welding equipment - Part 10: Electromagnetic compatibility (EMC) requirements
EN IEC 62135-2:2021 Resistance welding equipment - Part 2: Electromagnetic compatibility (EMC) requirements

2021 年 12 月 16 日

CISPR 25:2021 Vehicles, boats and internal combustion engines - Radio disturbance characteristics - Limits and methods of measurement for the protection of on-board receivers

2021 年 12 月 23 日

ETSI EN 303 345-2 V1.2.1 (2021-12) Broadcast Sound Receivers; Part 2: AM broadcast sound service; Harmonised Standard for access to radio spectrum
ETSI EN 303 345-5 V1.2.1 (2021-12) Broadcast Sound Receivers; Part 5: DRM broadcast sound service; Harmonised Standard for access to radio spectrum
ETSI EN 301 025 V2.3.1 (2021-12) VHF radiotelephone equipment for general communications and associated equipment for Class "D" Digital Selective Calling (DSC); Harmonised Standard for access to radio spectrum and for features for emergency services

2022 年 1 月 10 日

IEC 61000-3-3:2013/AMD2:2021/COR1:2022 Corrigendum 1 - Amendment 2 - Electromagnetic compatibility (EMC) - Part 3-3: Limits - Limitation of voltage changes, voltage fluctuations and flicker in public low-voltage supply systems, for equipment with rated current ≤16 A per phase and not subject to conditional connection

2022 年 1 月 12 日

Draft ETSI EN 303 132 V2.0.1 (2022-01) Maritime low power VHF personal locating beacons employing Digital Selective Calling (DSC Class M); Harmonised Standard for access to radio spectrum and for features for emergency services

2022 年 1 月 13 日

ETSI TR 103 773 V1.1.1 (2022-01) TECHNICAL REPORT Report to analyse the possibilities to develop reference documents for methods of measurements for radio standards in

＜ 上記の EMC/Wireless に関するお問合せ先 ＞

担 当 ： コンシューマー機器事業部　 橋本

E-mail ： Tetsuya.Hashimoto@ul.com

UL.com